## まちのわだい

あなたの周りで起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの身近な情報をお待ちしています。
▷問い合わせ　広報情報係
（☎２２３局３５６９）

TOWNS TOPICS

# 入学おめでとう！職員たちが心を込めて入学式

**4月9日　芦屋中学校、10日　町内3小学校入学式**

芦屋町では新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、３月４日から小中学校を臨時休校としていますが、今年度入学する児童・生徒たちを迎える入学式を小中学校で行いました。

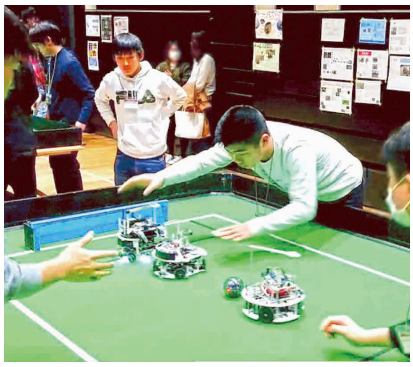
感染防止策を徹底して講じ、保護者の来場は中学校では１家庭に１人、小学校では２人までに限定し、会場の体育館に入る前に検温や手指の消毒を行いました。生徒や保護者の椅子席は1.5m以上間を空け、芦屋中学校91人、芦屋小学校21人、芦屋東小学校36人、山鹿小学校39人の新入生と保護者、教員など、参加者は全員マスクをつけて式典に臨みました。芦屋町教育委員会の三桝賢二教育長は「３月の卒園・卒業前から休校としていたため、子どもたちの不安な気持ちを解消させ、新しい居場所を認識してもらい、学校再開後に安心して登校できるようにするのが第一の目的です」と話していました。式典後、入学を自覚した子どもたちの笑顔はマスクの上からでも見ることができました。

## サッカーをするロボットをプログラミング

### 3月26日　ロボカップジュニア2020九州ブロック大会準優勝報告

子どもたちが自ら製作し、動きをプログラミングした自律型ロボットを使って行う競技会、ロボカップジュニア2020九州ブロック大会に出場した秦諒真さん（花美坂）が、準優勝の報告に波多野町長を表敬訪問しました。

秦さんは小学生の時に北九州市の児童文化科学館で行われたロボットプログラミングのイベントに参加したのがきっかけで、科学技術のおもしろさを知り、高校生になった現在もロボット設計製作に没頭しているとのこと。波多野町長から「全国大会で優勝し、世界大会（フランス）出場も夢ではない」と激励されましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大会はすべて中止に。秦さんは「19歳まで挑戦できるので、残り３年間を有意義に活用してチャンスをまたつかみます」と話していました。



## 無観客の中、流れるような花が満開

### 4月18日　芦屋釜の里

芦屋釜の里では、4月初旬、満開になった桜に続き、中旬には藤が満開となりました。最長50㎝ほどの大きな房を優雅に垂らし、薫風に揺られ咲き誇っていました。樹木のせん定をしていた山本勝義さんは「藤の花芽がよく育つようにと、前年のせん定時に日当たりを良くしたので、今年は花房が大きく長くなり見ごたえがあります。施設が臨時休館中で皆さんに鑑賞してもらえないのが残念です」と話していました。皆さんに代わって撮影しましたので、写真でお楽しみください。

## 花の力でみんなを笑顔にしたい

### 4月2日　学童クラブへ花をプレゼント

新型コロナウイルスの影響で急な休校措置となり、負担のかかっている学童保育に通う子どもや職員に少しでも笑顔になってもらいたいと、「はなの店 てぃーだ」の山村朋代さん（正門町）が、町内３つの学童クラブへきれいな花を届けました。山村さんは「ストレス軽減効果や体調を整える効果があるとされる花の力で少しでも明るい気持ちになってもらえるとうれしいです」と話していました。資金は北九州エリアの生花店有志がインターネット上で出資を募るクラウドファンディングを利用して集めたそうです。